

「誰かが」ではなく「みんな」でつくる

地域共生社会



HELLO, NEW CITY.
新しいまちの暮らし
スーパースマートシティ
うつのみや発想



本市では、今後、社会環境が大きく変化する中で、子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」の実現を目指しています。

今回は、「スーパースマートシティ」を構成する3つの社会のうちの一つ、絆を深め、共に支え合う「地域共生社会」が実現した未来の姿をご紹介します。

保健福祉総務課 ☎(63)2930

「スーパースマートシティ」の実現は世界共通の目標であるSDGsの達成にも寄与します

ネットワーク型コンパクトシティ
NCC
持続可能なまちの土台

なるほど〜でも、どうして今「地域共生社会」を実現しなきゃいけないの？

昔の地域社会は近所付き合いが盛んで、個人や世帯では解決できない問題でも、地域のみんなで支え合ってきたんだ。でも、少子高齢化や価値観の多様化などによって、地域社会の支え合いの基盤が弱まってきているんだ。だからこそ、地域での人と人とのつながりが大切になってくるんだよ。

なるほどね！じゃあ「地域共生社会」を表現するには、どうしたらいいのかな？

今は、家族のあり方や生活スタイルも多様化しているし、外国人もいるよね。だからまずは、地域にはいるいるな人がいることを知ることが大切だよ。みんなとつながり、それぞれの意見や出来ることを持ち寄って、地域の問題を解決するためのアイデアが出せる社会になるといいな。

すてき〜！早く実現した姿を見てみたいよ！

それじゃあ、次のページから、みんなでつくる「地域共生社会」が実現すると、生活がどう変わるか紹介するよ。

「地域共生社会」かも。聞いたことはあるけど、漢字が並んでなんか難しそつたよね〜。

そうかもしれないね。でも、実はそのそんなに複雑なことじゃないから、僕が分かりやすく説明していくね。まず、ミヤラーは、今の社会って生活を「支える側」と「支えられる側」が決まっていると思わない？

支援をする人と支援を受ける人の役割が決まってるってこと？言われてみれば確かにそうかも……。

「地域共生社会」は、そんな「支える側」と「支えられる側」という枠組みを超えて、それぞれが役割を持ち、住み慣れた地域で支え合いながら生活することができる社会なんだよ。

地域に住む誰もが、支える側にも、支えられる側にもなるってことだね！

そうそう！例えば、体が不自由でも、地域の子どもたちへの読み聞かせや地域の見守り活動に参加することができるよね。自分のできる範囲で誰かを支え、時には自分も支えてもらう「お互いさま」が当たり前になるのが「地域共生社会」なんだ！